

AI の活用による英語教育強化事業業務委託プロポーザル方式
募集要領等に関する回答書

令和7年4月24日

福島県教育庁義務教育課長

業務名	令和7年度 AI の活用による英語教育強化事業業務委託		
質問 No.	質問該当箇所	質問事項	回答事項
1	募集要領6(2)	提出書類③「全部事項証明書（登記簿）謄本」は、写しではなく原本が必要でしょうか。	「写し」で差し支えありません。
2	仕様書1(3)	実証研究成果報告のための資料収集のために学校訪問等を行う場合の費用（授業研究に関する人件費や交通費など）は見積りに含めてよいのでしょうか。	実証研究成果報告のための資料収集など、学校訪問等に係る人件費や交通費などはサポート料として見積りに含めていただいで差し支えありません。
3	仕様書3(2)	「(2)ウ CEFR に準拠した「話すこと」のパフォーマンステストを複数回実施する機能を有していること。」について、テストで計測する項目の指定はありますでしょうか。	「日常的な話題や社会的な話題について、外国語で簡単な情報や考えなどを理解したり、これらを活用して表現したり伝え合ったりすることができる力」を測ることが前提となりますが、計測する項目に特に指定はありません。
4	仕様書2(2)	業務スケジュール上に「英語力測定」の実施が明記されておりますが、これを英語力評価用のテスト提供を含むものと理解しております。 4 技能評価やスコア形式など、ご要望がございましたらあわせてご教示いただけますと幸いです。	企画提案書において御提案ください。
5	仕様書2(4)②	①中間報告会（8月） 当該報告会について、受託者は報告資料の提出のみでよいのか、またはオンライン・対面での説明やプレゼンテーション対応等も求められるのか、想定されている形式をご教示ください。	①中間報告会については本県が主体となり、オンライン及び対面両方でのモデル校によるプレゼンテーション等の実施を想定しています。受託者へは報告資料の提出に加え、プレゼンテーションにおいて一部説明や対応

		<p>② 授業公開（10月）</p> <p>授業公開の設定・運営はモデル校側で実施されるのか、それとも受託者が主体的に企画・運営を担う想定なのか確認させてください。また、当日の機器・通信サポートや、AI活用に関する資料提供、説明対応など、受託者が担うべき範囲があれば具体的にご教示願います。</p>	<p>を依頼する場合もあると考えております。</p> <p>②授業公開の設定及び運営は、本県がモデル校と相談のうえ決定いたします。運営は本県が主体で行う想定です。当日の機器や資料提供、説明対応など可能なサポート等がありましたら、企画提案書において御提案ください。</p>
6	仕様書3(1)	<p>本業務で求められる「学習アプリ」は、クラウド型・ブラウザ利用型の形式も対象と考えてよろしいでしょうか。仕様書上、インストール不要のクラウドサービスでも要件を満たす認識で問題ないかご確認させてください。</p>	<p>御認識のとおりとなります。</p>
7	仕様書2(2)及び3(2)	<p>「CEFRに準拠した『話すこと』のパフォーマンステスト」について、以下2点についてご教示いただけますと幸いです。</p> <p>①本要件は、業務スケジュール(案)に記載されている英語力測定(6月・11月の年2回)と同一の取組を指しているものか、もしくは別の対応を求められているものか、想定されている位置づけをご教示ください。</p> <p>②「複数回実施する機能」との記載については、AIによる発話分析・フィードバック機能を活用し、生徒が日常的に繰り返し練習・自己評価できる仕組みでの対応を想定されているのか、あわせてお伺いできればと存じます。</p>	<p>①同一の取組を指しております。</p> <p>②少なくとも上記①の2回は実施できることが条件となります。その他、生徒が日常的に繰り返し取り組める仕組み等があれば企画提案書において御提案ください。</p>

(注) 質問に対する回答は、別途、福島県教育庁義務教育課で閲覧に供する。